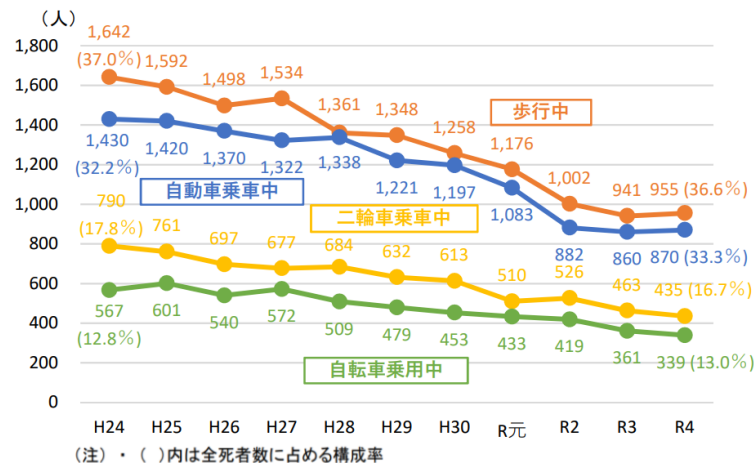


本日の深掘りウォッチ：交通事故（自転車）の発生状況等について

2022年における交通事故（自転車）の発生状況等について

昨今、自転車の事故が目立ちます。それは、「ながらスマホ」や「ヘッドホン着用」といった「危険な行為」が増えているというデータもあります。2023年4月1日からは、全年齢でのヘルメット着用が努力義務となります。この機会に、改めて自転車事故の実状を確認しておきましょう！

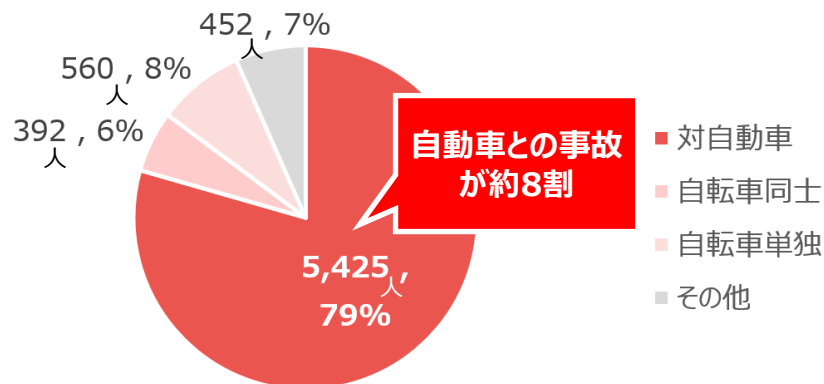
1. 状態別死者数の推移（2022年）



自転車は、
13.0%
約7.7人に1人

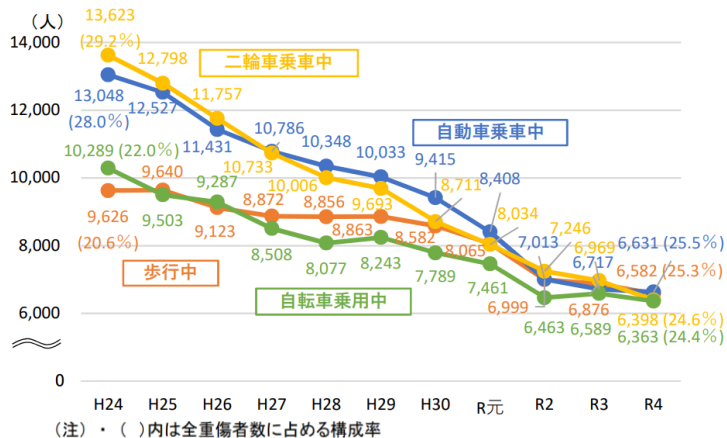
3. 相手当事者別自転車乗用中

死者・重傷者数（第1・第2当事者）の推移（このデータは2020年）



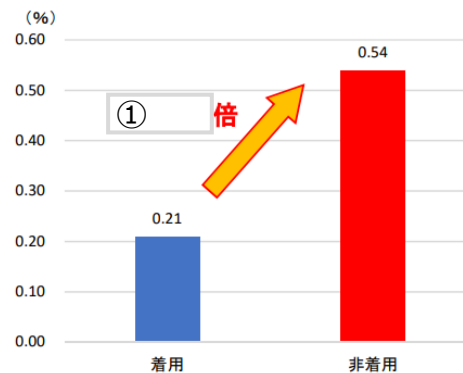
自動車との事故
が約8割

2. 状態別重症者数の推移（2022年）



自転車は、
24.4%
約4.1人に1人

4. ヘルメット着用状況別の致死率比較（2022年）



ヘルメット
着用効果は、
① 2.57倍！

(注)・「致死率」とは、死傷者のうち死者の占める割合をいう。

参考)内閣府・警視庁交通局 令和4年における交通事故の発生状況等について(<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bunseki/nenkan/050302R04nenkan.pdf>)

本資料は、個人の見解をまとめたものとなっています。参考にさせていただいたサイトはリンク等を掲載しております。また、当社のコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもそれらの正確性や安全性等を保証するものではありません。誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。万が一、当社に掲載された内容によって発生したトラブルや損害等の一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。お問い合わせ等は下記URLまでご照会ください。当コンテンツは、著作権法上の保護を受けています。著作権者の許諾を得ずに、当コンテンツの一部または全部を無断で複製・複製・転載することは禁じられております(<https://labo-ks.co.jp/>)。 © 2023 k's らぼ株式会社